



自然エネルギーは 地域のもの

No. 62

コナン市民 共同発電所



環境・エネルギー 地域活性化フォーラムを開催します

木の駅アドバイザーとして活動している丹羽健司さんを講師に招き、地域資源を活用した取組を紹介します。また、地域の森林に関わっている人々たちによるパネルディスカッションを行います。ぜひお越しください。

- 日時 3月3日(土) 午後1時30分～3時30分
- 場所 共同福祉施設(サンライフ甲西)
- 講師 丹羽健司さん(NPO法人地域再生機構)
- コーディネーター 能口秀一さん((有)ウッズ代表取締役)
- パネリスト(予定) 宮澤慎一郎さん(チーム森びと)、山元一彦さん(東寺生産森林組合)、吉本智さん(ベストハウスネクスト(株))、山本実さん(甲賀木の駅プロジェクト)



問地域創生推進課(地域エネルギー室)〔東庁舎〕
☎71・2302 ☎72・2000

コナン市民 共同発電所 11月の 発電結果

- 初号機(バンバン発電所/設備容量20.8kW)
発電量 **1,796**kWh(一般家庭約5軒分)
売電額 **77,587**円
- 二号機(甲陸発電所/設備容量105.6kW)
発電量 **6,844**kWh(一般家庭約22軒分)
売電額 **295,660**円
- 参考機(十二坊温泉ゆらら発電所/設備容量16.3kW)
発電量 **1,148**kWh(一般家庭約3軒分)
売電額 **39,674**円
- 四号機(柑子袋まちづくりセンター発電所/設備容量23.6kW)
発電量 **2,040**kWh(一般家庭約6軒分)
売電額 **70,502**円

※1軒あたり月間電力使用量=300kWhで換算

人権シリーズ

上下水道と人権

平成22年7月の国連総会では、安全で清潔な飲料水と衛生に対する権利を国際的な人権として認める「水と衛生に対する人権」についての決議案が賛成多数で採択されました。しかし、平成29年7月、ユニセフ(国連児童基金)とWHO(世界保健機関)は、水と衛生に関する報告書で、世界では21億人(世界人口の約10人に3人)が安全な水を自宅で入手できず、45億人(同10人に6人)が安全に管理されたトイレを使うことができないことを発表しました。

た。水道事業および下水道事業は、事業にかかる経費を水道料金および下水道使用料で賄っています。建設費や維持管理費には多額の費用がかかるため、水道料金および下水道使用料の収入が確保されないと、上下水道事業の安定した事業運営に支障をきたします。

湖南市の水道事業は、昭和31年の通水開始以来、拡張事業を重ね、現在の普及率は99.9%とおおむね市内全域に供給できる体制となっています。

安全で清潔な飲料水と衛生に対する権利を守るためには、水道料金、下水道使用料をお支払いいただくことが必要不可欠です。

また、下水道事業は、昭和63年度の供用開始以来、良好な水環境と快適な生活環境の確保を基本目標に整備を進め、平成28年度末には下水道整備普及率が97.3%となりました。

上下水道は、市民生活や社会経済活動を支える都市基盤として重要なライフラインです。将来にわたり一日も欠くことなくサービスを提供していくことが「水と衛生に対する人権」を守ることとなります。今後も安定供給をめざしていきますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

《今月は上下水道課が担当しました。》

